

浪花ぶし
赤垣源蔵

よし「心得ましたと、市助が、尻引からけ雪の途、馴た素足で駆け出す
仙臺侯の御門前に来て見ると、流石に廣うい門前も、鎧を立つる場
所もなく、早や見物の人の山。無理無体に市助は、主人を思ふ一心
に、群がる人の袖の下、股を潜つて真先に、やつとまかせと這ひ出
して、見て居るうちに御門が開き二人宛揃うて出る浅野の浪士、同
じ扮装の勇ましさ。四十餘人の其中で、一際目立赤垣が、鎧を小脇
に掻こんで、出たを見付けた市助は夢中で駆け寄りベツタリ座り。

● 旭 毒化と毒けし 丹 ● テリアカ
● アンチピリン散 四季引風一切ニよし
● はら薬 くだりはらはら一切ニよし

本 鋪 江州甲賀郡大原
松 島 一 天 堂

大阪東區加藤商店